



## 市長室だより

### 認知症の 支援の輪

国の推計では、2025年に高齢者の5人に1人が認知症になると予想されています。安来市に置き換えると8年後には、現在の1,652人から1,000人以上も増加することになります。避けることのできない深刻な課題であり、市全体で考えていかなければなりません。

市の認知症予防は、全国でも先進的な取り組みである健康推進会議を核に進めています。市内24地区にある同会議と、長寿保健福祉部会などが中心となって関係団体とともに認知症の予防活動に取り組んでいます。

一方、市内3か所にある地域包括支援センターでは、様々な面から認知症の支援に取り組んでいます。中でもサポート医と専門職で構成する「認知症初期集中支援チーム」は、早期に必要な医療・介護サービスが提供可能となるよう活動しています。また、認知症になっても住み慣れた地域で暮らすことができるよう認知症地域支援推進員を配置し、相談支援を行っています。

認知症の人が地域で暮らしていくためには、地域の理解が大切です。認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を見守る応援者として市では「認知症サポーター」の養成にも力を入れています。現在は約3,500人のサポーターがいますが、最近では企業や中高生の皆さんなど幅広く受講され、応援者の輪が広がりをを見せています。

このように市では、認知症になっても「住み慣れた地域で自分らしく暮らし続ける」ことができるまちを目指し、総合的に取り組んでいます。

## 市長 短 信



◀福祉と医療を考える  
市民の集い（1月14日）。

# どげなかね

2018 3 月号

も く じ

- 2 市長室だより
- 3 市政トピックス
- 4 特集：地域包括ケアシステム  
地域に広がる  
助け合いの輪
- 8 ごみ分別アプリ / 市長会通信
- 9 「安来節乙女組」イベント開催
- 10 食育レシピ / 加納美術館だより
- 11 国保制度改正②
- 12 たうんとぴっくす
- 14 健康の窓
- 15 新刊図書紹介
- 16 「ジョーホーの森」各種お知らせ
- きらり光る☆地域（裏表紙）

## 別刷 市民カレンダー

3月の行事／日曜日・祝日診療など

## 今月の表紙

### 素敵な歯の3人兄妹

1月28日に開催した「食と歯のフェスティバル」の口腔衛生展で歯科医の検診を受ける女の子。先に受診したお兄ちゃんふたりが心配そうにのぞき込みます。この後、フッ化物塗布を行い、お手入れはバッチリです。イベント会場で出会った素敵な歯の3兄妹です。

撮影日／1月28日 場所／総合文化ホール

